

庄原市立庄原小学校 改築事業の概要

「木材を活用した学校施設づくり講習会」広島会場説明資料
平成29年11月13日(月)
広島県庄原市教育委員会 教育部 教育総務課



広島県庄原市はどんなところ？

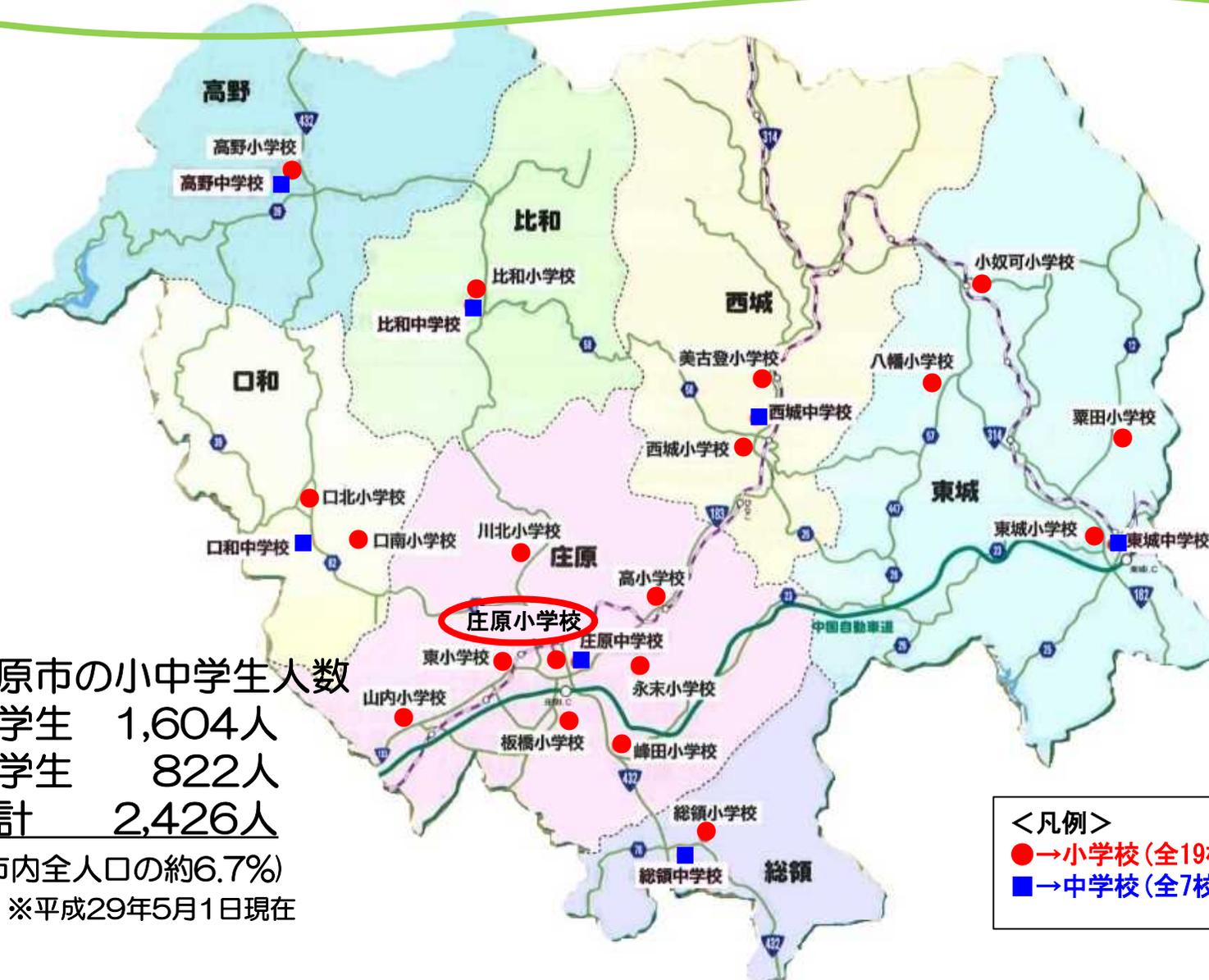


■ 人口 36,395人
高齡化率 41.5%
(平成29年9月30日現在)

■ 面積 1,246.49km²
→ 広島県全体の約14%、全国自治体の中で13番目、
近畿以西では最大の広さ(平成29年10月1日現在)



庄原市内小中学校の配置



庄原市の小中学生人数

小学生 1,604人
 中学生 822人
 合計 2,426人

(市内全人口の約6.7%)
 ※平成29年5月1日現在

<凡例>
 ●→小学校(全19校)
 ■→中学校(全7校)

庄原小学校新校舎の概要



～庄原小学校の校章～

■校舎の概要

- 構造 木造(一部鉄筋コンクリート造) 2階建
- 建築面積 2,503.45㎡(うち木造部分：2,132.18㎡、非木造部分：371.27㎡)
- 床面積 4,200.57㎡(うち木造部分：3,519.34㎡、非木造部分：681.23㎡)
- 設計者 株式会社あい設計
- 施工者 小林建設株式会社・株式会社大歳組共同企業体
- 工期 平成26年7月30日から平成27年11月30日まで
- 工事費 12億7,440万円

■新校舎設計の基本理念

『環境に配慮した安全で温もりのある学校』



～庄原英学校～



～旧庄原中学校～

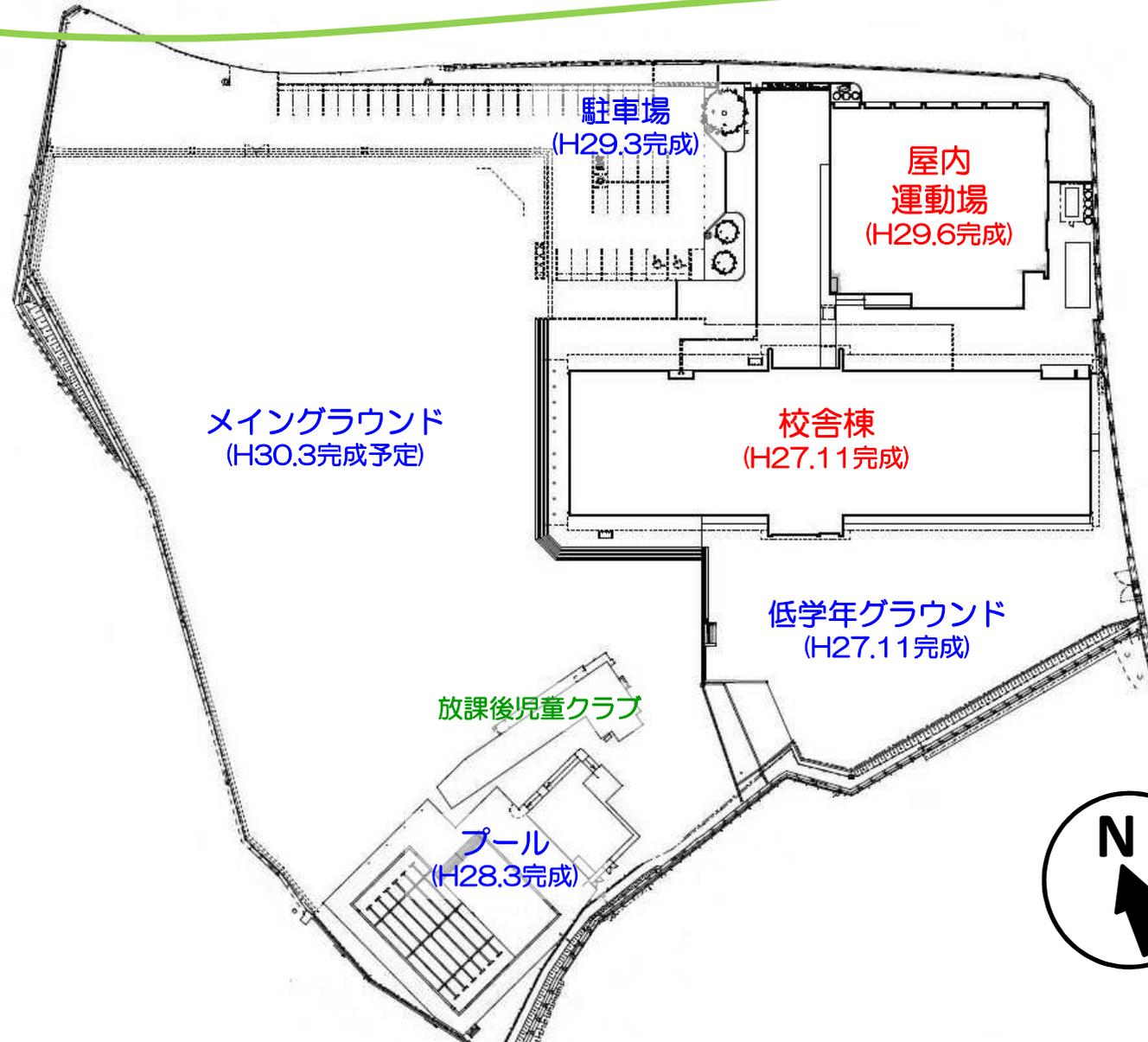
■新校舎の特徴

- 地域木材を活用した温もりのあるデザイン
- 「庄原英学校」「旧庄原中学校」のたたずまいを受け継いだ、銀黒の瓦屋根や杉の下見板張り(濃い茶色)の外壁を用いた落ち着いたデザイン
- 建物内外への視界確保のため、管理諸室(職員室等)を敷地全体の中央に配置
- 視線が行き届くシンプルで直線的な施設形状
- 読書や調べ学習の拠点となる図書室とパソコン室を建物の中心に配置
- 学習発表や児童の集える場となる多様なホールの設置
- 児童個々に対して細やかな指導を行うための相談室の設置
- 1学年に1ヶ所手洗い場を設置

庄原市立庄原小学校 新校舎・新屋内運動場の全景



庄原市立庄原小学校の平面図



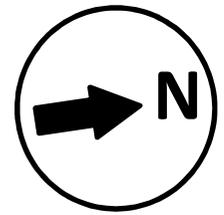
庄原小学校新校舎の案内図



～1階～



～2階～



外観デザイン



庄原産木材をふんだんに使用した、
木の存在感に満ちあふれた校舎

- RC造棟を木造棟の間に挟んだ3棟構成により
可能とした床面積4,000㎡を超える木造校舎
- 低い勾配の屋根と深い軒により
周囲への圧迫感を軽減
- 雨掛かりが少ない軒下の外壁に
木材(庄原産の杉材)を多く使用

庄原市立庄原小学校 新校舎の構造区分

木造

RC造

木造





2階廊下

杉(庄原産)



内装デザイン



木の温もりや香りを感じる内装デザイン

- 天井・腰壁に庄原産杉材、床(フローリング)に庄原産檜材を使用
- RC造部分にも庄原産木材をふんだんに使用

こもれびホール・昇降口 (RC造棟)

杉(庄原産)

檜(庄原産)

1階廊下・階段下

杉(庄原産)

杉(庄原産)

檜(庄原産)



普通教室

檜集成材(庄原産)

杉(庄原産)

主な使用木材



■ 構造材

- 杉無垢材(柱・梁) : 庄原産材 358.58m³
- 檜集成材(柱・梁) : 庄原産材 349.79m³
- 唐松集成材(柱・梁・ブレース) : 191.69m³

■ 造作材

- 杉無垢材(壁・天井・額縁・破風板・鼻隠し)
: 庄原産材 66.77m³
- 檜無垢材(床) : 庄原産材 19.37m³

環境配慮



人と環境にやさしい学校

- 全ての普通教室を日当たりの良い南向きに配置
- 木質ペレットボイラーを熱源とした床暖房の採用(庄原産木材を原料としたペレットを使用)
- 太陽光発電システムの採用

ご清聴ありがとうございました



明日は庄原小学校現地にて、
皆様をお待ちしております！

～庄原市マスコットキャラクター 左：キョロやまくん 右：ヒバゴン～